2026年10月26日

各　位

会 社 名　株式会社早稲田アカデミー
代表者名　代表取締役社長　山本　豊
（コード番号　４７１８　東証プライム）
問合せ先　執行役員管理本部長　関　俊彦
Ｔ Ｅ Ｌ　０３－３５９０－４０１１

業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年５月12日に公表しました2027年３月期の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．業績予想の修正

（１）2027年３月期第２四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	19,775	1,867	1,887	1,135	61.41
今回発表予想（B）	20,066	2,538	2,534	1,570	85.68
増　減　額（B－A）	290	671	647	434	－
増　減　率（%）	101.5	135.9	134.3	138.3	－
（ご参考）前期第２四半期実績（2026年３月期第２四半期）	18,272	1,667	1,678	1,059	57.32

（２）2027年３月期通期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	40,520	4,239	4,274	2,752	148.79
今回発表予想（B）	40,900	4,770	4,780	3,080	169.76
増　減　額（B－A）	379	530	505	327	－
増　減　率（%）	100.9	112.5	111.8	111.9	－
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	37,658	3,960	3,968	2,487	134.61

（３）修正の理由

当第２四半期連結累計期間におきまして、売上高につきましては、塾生数が計画を上回って順調に推移したことに加え、上半期の収益に大きく寄与する夏期合宿・夏期集中特訓の集客も好調であった

ことから、前回予想を上回る見通しとなりました。

費用面では、広告宣伝施策、DX 関連投資及び設備投資について、実施時期や内容を精査した結果、予算執行の一部を下期に変更したことに加え、１校舎あたりの塾生数増加による業務効率化の進展もあり、人件費が予算を下回ったこと等により、売上原価・販売管理費ともに計画を下回る見通しとなりました。

この結果、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益ともに、前回公表の業績予想を上方修正いたします。

通期の業績予想につきましても、現状の塾生数動向を踏まえた売上高見通しの精査とともに、第３四半期以降の各種費用を見直した結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について、前回公表予想を上回る見込みとなりましたので、上記のとおり業績予想を修正いたします。

２．配当予想の修正

	年間配当金		
	第２四半期末	期末	合計
前回予想 （2026 年５月 12 日発表）	30 円 00 銭	45 円 00 銭	75 円 00 銭
今回修正予想	30 円 00 銭	55 円 00 銭	**85 円 00 銭**
当期実績			
（ご参考）前期実績 （2026 年３月期）	20 円 00 銭	35 円 00 銭	55 円 00 銭

修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つと認識しており、毎年の配当金につきましては、安定的な配当の維持を基本としつつ、中期経営計画に掲げる配当性向 50%以上を目標に、配当水準の引き上げを検討していく方針です。

このたび、2027 年３月期通期連結業績予想の見直しを踏まえ、上記配当基本方針に基づき、2027 年３月期の期末配当予想を前回予想から１株当たり 10 円増配し、55 円に修正することといたしました。これにより、年間配当予想は 85 円（前期比 30 円の増配）となります。

（注）業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以　上